

(別紙)

「第 22 回 Japan Venture Awards」の概要

1. 開催概要

- 名 称 : 第 22 回 Japan Venture Awards (第 22 回 JVA)
- 主 催 : 独立行政法人中小企業基盤整備機構
- 後 援 : 経済産業省中小企業庁 (予定) ほか
- 募 集 期 間 : 2022 年 7 月 12 日 (火曜) ~8 月 25 日 (木曜) 必着
- 表彰名(予定) : 経済産業大臣賞
科学技術政策担当大臣賞
中小企業庁長官賞
中小機構理事長賞
SDGs 特別賞
地域貢献特別賞
JVA 審査委員会特別賞
JVCA 特別奨励賞
ベンチャーキャピタリスト奨励賞

■審査プロセス :

書 類 審 査 : 2022 年 9 月~10 月

書類審査の結果通知 : 2022 年 10 月下旬

面 接 審 査 : 2022 年 11 月 4 日 (金曜) ※

※ベンチャーキャピタリスト奨励賞については、面接審査は必要に応じ実施します。

- 表 彰 式 : 2022 年 12 月 8 日 (木曜) 虎ノ門ヒルズフォーラム (虎ノ門ヒルズ 5 階、東京都港区)

2. 募集対象

《起業家表彰》

創業後、概ね 15 年以内(※1)であり、高い志を持ち、自立する中小企業等(※2)の経営者又は代表者。

※1. 社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合(第二創業)を含む。

また、応募者(表彰対象者を除く)の中で、創業 5 年以内で、将来更なる活躍が期待されるベンチャー経営者を対象に、JVCA 特別奨励賞の表彰を実施します。

※2. 企業を主な対象とするが、NPO 法人、LLC(合同会社)などの応募も可能。

(期待する経営者の例)

- 製品、サービス及びビジネスモデル等に革新性がある事業を実施している
- チャレンジ精神旺盛な若手や女性、シニア世代の経営者
- 東京圏以外の地方で活躍している
- グローバル市場など、積極的な市場開拓に挑戦している(日本で起業した外国籍の方を含む)
- 今後成長が期待される事業分野に取り組んでいる
- 時代を先取りした技術やアイデアを活かした事業に取り組んでいる
- 公的支援策を有効活用し、業績を伸ばしている
- 将来の社会や産業にイノベーションを起こす可能性がある事業に取り組んでいる
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染防止対策に貢献する事業や同感染症の影響を受けた生活様式・経済活動の変容をサポートする事業に取り組んでいる
- SDGs に貢献する取り組みを積極的に行っている
(資源の消費量の削減、人々の健康や働き方の改善、調達や流通の最適化等、SDGs の 17 のゴールに代表される社会課題の解決に積極的に取り組み、経済性と社会性を両立する経営者)
- 地域経済の活性化や地域課題の解決に貢献する事業に取り組んでいる
(売上・雇用者数の増加等により地域経済の活性化に貢献したり、独自の製品・サービスの提供を通じて地域が直面する社会的、経済的課題の解決に貢献する事業に取り組んでいる経営者)

《ベンチャーキャピタリスト奨励賞》

現在、ベンチャー企業に対して支援を行っており、今後も継続して活動するベンチャーキャピタリスト。

※直近 1 年間の新規上場案件における投資実績等を勘案し、ベンチャーキャピタリスト奨励賞審査委員会による推薦を合わせて実施します。

3. 審査基準

下記の項目について審査を行います。

《起業家表彰》

【1】 経営者の資質

【2】 成長性

【3】 革新性

【4】 社会性

《ベンチャーキャピタリスト奨励賞》

【1】 活動内容・実績

【2】 イノベーション・社会への貢献度